

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (30,000円) 上記は2025年12月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方) : パスポート新規申請代 (5年用 11,000円 / 10年用 16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) 中国入国にはパスポートの残存有効期間が入国時に6ヶ月以上が必要です。(12週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金 : 35,000円 (ホテルは基本2名一室です)
※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金 : 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用 : 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費
※2025年11月現在、中国入国ビザ免除措置がとられていますが、今後、再び入国ビザが必要と変更になった場合はビザ取得代が別途かかります。



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2025年12月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除

参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。

<取消料>

お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行費用の100%

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの

- ①企画手配料金および手配料金
- ②交通費 : 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金
- ③宿泊費 : 旅程表記載のホテル又は同等クラスのホテル (弊社基準) の基本宿泊料および税、サービス料 (基本2名一室)
- ④食事代 : 旅程表明示
- ⑤見学施設の入场料
- ⑥現地ガイド費用
- ⑦添乗員同行費用

■旅行代金に含まれないもの

- ①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
- ②個人的費用 : 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
- ③航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃 (30,000円) 2025年11月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ⑥お一人部屋料金 : 35,000円
- ⑦日本国内の交通費、前泊の費用
- ⑧海外旅行傷害保険料

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATAE会員

株式会社 富士国際旅行社

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201

fujikokusaionline@gmail.com 担当: 西須・山田・川村・小島

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7

ヒューリックみなとみらい11F-4

総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00

(休業日: 土日・祝日)

ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円** (旅行代金内金) をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 南京ステイ「南京事件」じっくり見聞

2026年3月26日(木)発

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日 () 歳	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券 (パスポート) 【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)			
連絡先	【tel】 () - - 【fax】 () - - 【携帯】 - - 【e-mail】			



旅行期間 2026年 3月26日(木)～3月30日(月) **5日間**

旅行費用 **286,000円** ※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・成田空港施設使用料・保安料別途30,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。

実施人数 **10名様** (最低実施人数5名様) 定員になり次第締め切ります。締切日以降も空席がございましたらご参加いただけますので、お問い合わせくださいませ。

申込締切 2026年2月20日(金) **添乗員** 成田空港より同行します

旅のポイント

- ◇南京に4連泊し、公共交通機関を使って市内を回ります
- ◇「南京事件」関連地をじっくり時間をかけて見学
- ◇中山陵、太平天国歴史博物館を訪れます

Peace Green Humanity

写真はすべてイメージです

旅行企画・実施

(株) 富士国際旅行社

観光庁長官登録旅行業第84号・JATA正会員

日次	都 市	現地時刻	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 3/26 (木)	成田/関西発 南 京 着	午 前 夕 方	航 空 便	空路、中国・南京へ (成田空港集合予定時刻：11時15分頃) (関西空港集合予定時刻：12時00分頃) 夕方：南京着後、ホテルへ 南 京 泊 BX L機 DO
② 3/27 (金)	南 京	終 日	公共交通	<南京市内見学> * 侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館 * 静海寺(「南京条約」史料陳列館) * 下関埠頭(虐殺現場記念碑) 南 京 泊 BO LO DO
③ 3/28 (土)	南 京	終 日	公共交通	<南京市内見学> * 總統府(中國近現代史歴史博物館) …辛亥革命後、中華民国臨時政府がおかれた * 南京利濟巷(りさいこう)慰安所旧址陳列館 * ジョン・ラーベ旧居/南京国際安全区記念館 南 京 泊 BO LO DO
④ 3/29 (日)	南 京	終 日	公共交通	<南京市内見学> * 中山陵 * 太平天国博物館と夫子廟散策 * 中華門 南 京 泊 BO LO DX
⑤ 3/30 (月)	南 京 発 成田/関西着	午 前 午 後	専 用 車 航 空 便	ホテル発、空港へ 航空会社チェックイン 空路、帰国の途へ 着後、解散 (成田空港到着予定時刻：12時00分頃) (関西空港到着予定時刻：12時45分頃) BO L機

ご注意 ※上記は、2025年11月現在のスケジュールです。現地の都合で変更になる場合がございます。
●利用航空会社：中国南方航空 ●宿泊予定ホテル：南京＝中山大厦 または同等クラス ●旅程表のマーク：B＝朝食、L＝昼食、D＝夕食、○＝食事つき、×＝自由食、機＝機内食

中国基本情報

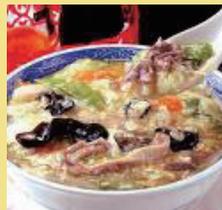
面積：約960万km² 人口：約14億967万人(2023年統計)
言葉：中国語 時差：日本より1時間遅れ
電圧：220ボルト(V)
通貨：「人民元」補助通貨「角」「分」
1元=10角=100分=約22.02円(2025年11月)

【気候】日本の約26倍の国土をもつ中国は、気候も寒帯から亜熱帯まで存在しています。今回訪れる江南地方は日本と同様に四季がはっきりしています。南京の冬は湿度が低く、風が冷たく感じられますので、雨具の他に温かい防寒具を準備するとよいでしょう。

最高気温/最低気温	
単位:℃	3月
南京	15/5
東京	14/9

中国味の魅力

歴史が古い中華料理は中華文化宝庫の中のさんらんたる一輪の花と言える。フランス料理、トルコ料理と並んで世界の三大料理と称されている。江南地方の料理は満漢全席の元となった北京の宮廷料理のルーツでもあります。



南京屠城 ～南京大虐殺～

1937年12月に、日本軍は当時の中華民国の首都・南京を陥落させ城内に突入しました。上海・杭州方面から周辺の都市・農村を焼き払い、敗走する中華民国政府軍と難民を追い込むように攻略戦を行ったため、陥落時に南京市内にいた人口は通常の3～4倍に膨れ上がっていたと言われています。日本軍の占領下におかれた南京は、日本軍が戦時国際法などを兵隊に周知していなかったこともあり、前近代的な略奪・暴行・強姦・殺害が繰り返される地獄となりました。

南京には多くの外国人ジャーナリストがおり、いち早く虐殺が起きていることを世界に発信していましたが、日本軍は徹底して事実を伏せ、国民は敗戦後の東京裁判で初めて知られることとなります。被害実数が過少に見積もられているという説もあり、未だに正確な解明には至っていません。



参考文献

- 『海軍の日中戦争- アジア太平洋戦争への自滅のシナリオ』 笠原十九司著(平凡社)
- 『南京事件』 笠原十九司著(岩波新書)
- 『南京事件』(増補版) 秦 郁彦著(中公新書)
- 『中国の歴史 近・現代篇一・二』 陳舜臣著(講談社文庫)



訪問都市と訪問先の紹介

南 京

南京は2,470余年の歴史を持ち北京・西安・洛陽に並ぶ中国4大古都となっています。六朝から南唐、明、太平天国、そして中華民国までの10の王朝・政権がこの地に都を置いていました。孫文の墓である中山陵や總統府など中華民国時代の史跡も多く残っています。現在は江蘇省の省都であるとともに江南地方の政治経済の中心として発展、高速鉄道により上海から1時間半程度で結ばれています。

訪問・見学

- ジョン・ラーベ旧居/南京国際安全区記念館



南京難民(安全)区国際委員会は南京攻略戦に際し、南京に流入してきた難民や避難できない貧しい市民などを救済するために、南京城内の一部に安全区(難民区)を設定した組織です。ナチス党员でもあるドイツ人ジョン・ラーベを委員長とし、アメリカ人宣教師を中心とする15名ほどによって組織されました。このため「ラーベの日記」を綴ったジョン・ラーベは「中国のシンドラ」とも呼ばれていて映画「ジョン・ラーベ」も公開されました。

中国江南地方

「千里鶯啼いて緑紅に映ず」と漢詩に詠まれた江南地方は古くから日本と交流を持った地域でもあります。中華文明が黄河のほとりに誕生し、周代・漢代を通じて黄河の周辺に都をおいていた時期は、江南は辺境の一地方に過ぎませんでした。やがて漢の時代が乱れ、三国時代に入ると初めて江南は「呉」政権の根拠地となり、北方の権力に対抗できる力を持ち始めます。三国分裂を再統一した晋が国土の北半分を遊牧系の民族に占領されて朝廷が江南に逃げ込んだ東晋時代にその開発と文化面での向上は決定的になります。このころ古墳時代だった日本は南朝と呼ばれた江南の歴代政権に使節を送り位などを授かっています。「南船北馬」という言葉が残っているように、豊富な水資源と肥沃な農業生産力を併せ持った江南地方は、その後現代にいたるまで食料供給の要となっています。

訪問・見学③

- 利濟巷慰安所遺址陳列館

2015年12月にアジア最大の慰安所旧跡といわれる利濟巷慰安所旧址にオープン。陳列館は南京大屠殺記念館の分館としての位置づけで、中華民国当時の8棟の歴史的建造物で構成されています。展示物は1600点以上、写真は約680枚に上ります。



訪問・見学

- 太平天国博物館・中華民国總統府

1853年に南京を占領した太平天国は「天京」と改称し首都としました。南京に残る古式庭園・瞻園には中国唯一の太平天国博物館があります。また、最高指導者・洪秀全の座所「天王府」の跡は、辛亥革命後に中華民国總統府になりました。

